

子どもの発音について

市民病院
医療技術部
リハビリ課
監修
(言語聴覚士)

▽市民病院(代表) Ⅷ22・2171
ID 751376216 (ほのか診察室)

「うちの子どもは『サ行』がうまく言えませんが治りますか?」
という相談を受けることがあります。

発音するための器官(唇や舌などの口腔器官、のど、鼻)に問題がないにも関わらず、正しく発音ができない場合があります。例えば、赤ちゃん言葉のような発音になったり(例…さかな→ちやかな)、正しい発音とは異なる発音の癖がついた独特の発音になったりすることがあります。

正しい発音の完成には個人差が大きいのと言われており、話し始めから上手な発音ができる子どももいれば、5〜6歳頃になっても発音の未熟さが目立つ子どももいます。

子どもの発音について、正しい発音ができる年齢は次の表のとおりです。

年齢	完成する発音
2歳	パ行・バ行・マ行・ヤユヨワン・母音
3歳	タ行・ダ行・ナ行・ガ行・チャ行
4歳	カ行・ハ行
5歳	サ行・ザ行・ラ行



●発音の発達に良いこと

正確な発音を完成させるためには、次のような脳からの指令による、体の動き、呼吸、舌や唇の動きが必要です。

- ◆ たくさん体を動かして遊ぶ(全身を使った遊び)
- ◆ 食べ物もしっかり噛んでから飲み込む
- ◆ ブクブクうがいやガラガラうがいをする
- ◆ 唇や舌を使う遊びをする(シャボン玉、ラッパ吹き、風船遊びなど)
- ◆ 大人の話をしっかり聞く力を育てる

●周囲の大人が気をつけること

① 言い直しはさせないようにしましょう

低年齢の子どもに、どんなに言い直しをさせても上手に言えないことがあります。そのため、正しい発音でなくても、たくさん話す

ことが大切です。そして、子どもが話しをする様子を褒めてあげましょう。

② 正しい発音ではっきりと話しかけましょう

正しい発音の完成には、「聞く力」がとても大切です。周囲の大人が子どもに話しかける時は、正しい発音ではっきりと話しかけるようにしましょう。

小さい時は正しい発音ができなくても、脳や体全体がしっかりと育つにつれて、いつの間にか正しい発音ができていたということがあります。子どもとのコミュニケーションしながら、正しい発音の完成を促すようにしましょう。